

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式							
E112F002		社会科授業論 (Instruction on Social Studies )							対面							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態								
必修	2	3	教育学部 令和2年度 以降入学生用		火3	日本語		単独								
担当 教員	氏名 渡邊 大貴 E-mail watanabe-hiroki@oita-u.ac.jp 内線															
授業 の 概 要	中学校社会科の授業づくりについて考え、実際に授業開発を行い、模擬授業（ICTの活用を含む）を実施する。その際、伝統的な社会科授業の問題点を考察し、克服の方途を追求する。															
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	
目標1	伝統的な社会科授業の問題点を考えることができる。															
目標2	社会科授業の問題点を改善する様々な方策について考えることができる。															
目標3	問題点を克服する社会科授業の指導案を開発することができる。															
目標4	開発した指導案に基づいて模擬授業を実施することができる。															
目標5	模擬授業を分析し、改善案を作成できる。															
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
各DPへの関連度(計10)							3	2	5							
授業の内容																
1	オリエンテーション															
2	中学校社会科のあり方の検討1 社会科の現状															
3	中学校社会科のあり方の検討2 社会科の課題															
4	中学校社会科の改革案の検討1															
5	中学校社会科の改革案の検討2															
6	中学校社会科の改革案の検討3															
7	学習指導案の作成1															
8	学習指導案の作成2															
9	模擬授業の実施と検討1 (ICTの活用を含む) 地理的分野															
10	模擬授業の実施と検討2 (ICTの活用を含む) 歴史的分野															
11	模擬授業の実施と検討3 (ICTの活用を含む) 公民的分野															
12	模擬授業に基づく学習指導案の再構成1 地理的分野															
13	模擬授業に基づく学習指導案の再構成2 歴史的分野															
14	模擬授業に基づく学習指導案の再構成3 公民的分野															
15	総括 社会科授業についてのまとめ															
ラ イ ク ニ テ ン イ グ ブ	A:知識の定着・確認	・講義内容に関する受講者間での意見交流の機会を設ける。				工 夫 そ の 他 の	・作成した学習指導案に基づき、模擬授業を全員ができるよう工夫する。									
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	学指導案作成のための資料・データ収集を行っておく(5h)。														
	事後学修	収集した資料・データを整理し、指導案作成のために分析考察する(25h)。講義内容の振り返りや課題レポートの作成に取り組む(15h)。														
	想定時間合計	45														
教科書	文部科学省『中学校学習指導要領(平成29年告示)』 文部科学省『中学校学習指導要(平成29年告示)領解説社会編』															
参考書	中学校社会科教科書(地理, 歴史, 公民)(附属中学校で使用しているもの)															

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	授業やディスカッション等への取り組み等	30%										
	講義内容に関するレポート	30%										
	学習指導案と模擬授業の完成度	40%										
注意事項	・社会科の中等の指導法科目の履修については、相互の授業科目について履修済み等の条件はない。ただし、授業内容に関連がある場合があるため、授業担当教員の説明をよく理解しておくこと。											
備考	*この科目は『地域創生教育科目』です。 ・履修者の関心ならびに授業の進捗状況によって、講義内容・計画を変更することがある。											
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の 実務 経験	小学校、中学校での勤務経験がある。											